

## ■令和 6 年度 自己評価

### 1. 本園の教育目標

豊かな緑に囲まれ、心優しい先生の資質を大切に、  
良く整備された環境の中で、  
お友達と楽しく過ごす幼稚園生活の中から、  
伸び伸びと明るく 元気に、  
ごあいさつから始まる良い生活習慣  
思いやりのある豊かな心と、  
ものごとに自分から関わろうとする意欲やがんばる心  
を育てることを目標にしている。

### 2. 重点的に取り組む目標

本園の教育目標の達成に向け、保育内容の更なる充実を図るため、  
次の点に重点的に取り組み、健全な心身の育成を目指す。

- ① 教職員の資質の向上及び保育内容の充実
- ② 各種感染症拡大の防止対策と教育機会の確保
- ③ 安心・安全な保育の推進

### 3. 重点取組項目の達成及び取組状況

- ① 園内研修や毎日のミーティング等を通じて、「明るく優しい笑顔・にこやかなご挨拶・綺麗な言葉遣い・礼儀作法・子ども達への適切な言葉かけ・けじめある指導力」など教職員の資質向上に  
取り組み、各クラスの保育の質の向上とレベルの均質化が図れた。
- ② 学芸会では劇を復活。和舞・バレエの先生から教員が個別指導を  
受けて、子どもへの踊りの指導力を高めた。子どもたちの音楽に  
対する興味を高めるため、音楽講師を中心に活動している音楽グ  
ループによる演奏会を開催した。
- ③ 支援が必要な子どもが増加する中、園児一人ひとりに対する細や  
かな保育を充実させるため、少人数クラスに加え、補助教員を充  
実させた手厚い教育体制で保育を推進した。
- ④ 小学校 1 年生の授業参観及び一緒に遊ぶ行事を前年度に引き続き  
実施。先生の話の良い姿勢で聞く習慣と集中力、ひらがらの読み

書きと数字の理解など、小学校 1 年生の壁を作らず、小学校で前向きに授業を受けられる基本的な認知・非認知能力を身に付けられるように子どもたちの育成を支援した。

- ⑤ 新型コロナウイルスは 5 類に移行して 2 年目となり大量発生はなかったが、他の感染症、特にインフルエンザの感染拡大がある中、適切な感染症対策と教育機会の両立を図った。その結果、園内のクラスター発生及び休園はなく、1 学年延べ 2 日間の学年閉鎖、3 クラス延べ 6 日間のクラス閉鎖におさまった。
- ⑥ 熱中症対策のため、保育室のエアコン 2 台を大型機に入れ替えし、全エアコンの業者清掃を実施した。また、害虫・害獣駆除を年 1 回から年 2 回に増やして実施した。
- ⑦ 遊具の安全点検を実施し、吊り橋と築山(にこにこ山)の一部を業者による補修を実施。木製遊具は年 2 回のペンキ上塗りを実施するなど定期的な点検・補修を継続実施した。
- ⑧ こどもの人権を尊重した適切な保育を行うため、全員で研修を実施し、チェックシートなどで再確認した。普通救命講習Ⅲの講習会を開催、アナフィラシー講習への参加など、安全な幼稚園運営を推進した。

#### 4. 重点取組項目の総合的な評価結果

- ・ 教職員の資質向上への取組みにより、各クラスの保育の質の向上とレベルの均質化が図れ、子ども達が伸び伸びと成長していく姿が見受けられた。
- ・ 年少・満 3 歳児を中心に少人数クラスで手厚い教員体制としたことに対して、保護者から安心との評価を得た。
- ・ 各種感染症の拡大防止対策により園内の感染拡大を防止でき、教育の機会を確保できた。
- ・ 音楽講師による演奏会や、学芸会での踊りの指導など、質の高い指導に対して保護者から高い評価を頂いた。
- ・ 園行事に招待した老人会の方々から、子どもたちのしっかりとしたご挨拶や演技の良さそして可愛らしさ等を見れて良かったと喜んで頂いた。

## 5. 今後取組むべき課題

- ・ 教職員の質の向上は幼稚園での最重要課題であり、継続して資質向上に取り組んでいく。
- ・ 支援が必要な子どもの増加もあり、少人数での保育体制を進めていく必要がある。
- ・ 安全管理・安全教育は、定期的に継続して実施していく必要がある。遊具・設備の適切なメンテナンス、教職員及び子どもたちへの安全教育を継続していく。

## ■ 令和 6 年度 学校関係者評価

### 1. 学校関係者の評価

- ・ 質の高い教育内容、挨拶をはじめ、社会的マナーが身に付いている等、保護者、園医、講師、キラキラ広場の地域役員や老人会の方々から高い評価を頂いた。
- ・ 小学校 1 年生の壁、授業を受ける準備ができていないこどもが増えている中、小学校関係者から、当園卒園生は授業を受ける姿勢やご挨拶などがしっかりとできると評価頂いた。
- ・ 卒園後実施した小学校 1 年生の同窓会において、多数の保護者から、「小学校の参観に行き、授業を受けられない子ども・良い姿勢で座って先生の話の聞けない子どもが多いことに驚いた」「当園の参観の時の方が、しっかりと良い姿勢で先生の話の聞いている子どもたちが多かった」との評価を頂いた。
- ・ 新型コロナウイルスが 5 類に移行して 2 年目となるが、インフルエンザ等他の感染症が拡大する中、感染防止対策に保護者の理解・協力があり、休園は発生しなかった。
- ・ 音楽講師による演奏会や、学芸会での質の高い踊りや合奏などを見て、「感動した」「子どもたちにとって、良い経験となり自信もついたと思う」と保護者から評価を頂いた。

### 2. 財務状況

公認会計士監査に依り、適正に運営されていると認められている。

一方で、少子化による園児の減少に加えて、補助金が圧縮率により予想以上に減少したことから収支は厳しくなっており、保育の質を落とさない範囲で収支改善の検討が必要となっている。私学助成園から、新制度園への移行について検討を進めていく必要がある。